



勉強会

褥瘡と
栄養管理



先日、meijiさんより「褥瘡と栄養管理」についての勉強会が開催されました。

「褥瘡」とは、何らかの外力により骨と皮膚表層の間の軟部組織の血流が低下・停止し、その状態が一定期間続くことで不可逆的な阻血性障害に陥る状態の事を言います。主な発生要因として、摩擦やずれなどの外因的要因、低栄養や貧血などの内因的要因、活動性の低下や知覚障害により生ずる圧迫の持続、等が挙げられます。

低栄養で痩せが進行する事により、様々な要因から褥瘡発生率が上昇します。また、褥瘡が発生した後も、アルギニンや亜鉛等の摂取が褥瘡治療に大きく関わって来るそうです。今回の研修で、褥瘡に対しての「栄養管理」の重要性やその意義を学ぶ事が出来ました。

当院では普段より褥瘡予防に努めており、2017年の新規褥瘡発生数は、1階病棟・2階病棟ともに1名ずつでした。

1階病棟では、長期臥床状態の患者様が殆どです。褥瘡の発生を予防する為、皮膚の観察は勿論の事、排泄ケアの基礎となるオムツの仕組みや装着方法、排便コントロールの方法を勉強し、実践しています。

また、管理栄養士と医師が患者様の水分量や栄養状態を把握し、お一人ずつに対し「必要なケアは？対策は？」と情報を共有・交換しています。

「褥瘡をつくらない！」を目標とし、患者様の看護に全力投球したいと思います。



編集後記

新年度を迎え、少し肌寒さが残る4月が過ぎ、ようやく過ごし易い季節がやって来ました。お弁当を持ってピクニック、というのも良いかも知れませんね。

さて、この広報誌も早いものでもう4回目の発行を迎える事が出来ました。構想を練る事に始まり、何も無い所から徐々に形にして行き、誌面が完成すると毎回感慨深いです。

これからも末永く発行出来る様、頑張ってお参ります！
読者の皆様からのご意見・ご感想をお待ちしております。

